



【令和2年度要求額 1,281百万円（1,600百万円）】

廃熱・未利用熱等を有効活用し、地域の脱炭素社会づくりを推進します。

1. 事業目的

- ① 廃熱・未利用熱等を有効活用し、脱炭素化に向けた社会システムのモデルケースを創出。
- ② 農業分野における地域の特性を活かしたエネルギー利用及び地域連携によるCO2削減対策の導入。

2. 事業内容

一度整備されると長期にわたりCO2排出が懸念される社会システムは、構築のタイミングで脱炭素型のものへと政策誘導をすることが不可欠である。また、地域の特性を活かした資源の最大限の活用が重要であることを踏まえ、本事業では、地域の廃熱・未利用熱等の未利用資源の活用システムや高効率エネルギー供給システム等を構築する事業に対し、必要な設備等の経費を支援する。

例)

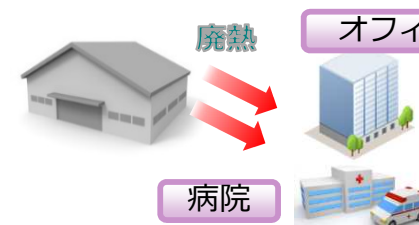
- | | |
|---|--------------------------------|
| ① | 事業所空調やコジェネ、温泉等の廃熱地域利用 |
| | 地中熱・下水熱等活用型空調、高効率な地域熱供給システムの導入 |
| | 地中熱・下水熱等を活用した融雪設備の導入 |
| ② | 営農地等での再エネ設備導入 |

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業（1/2、2/3）
- 補助対象 地方公共団体、民間事業者・団体等
- 実施期間 平成29年度～令和3年度

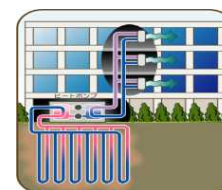
4. 事業イメージ

事業所空調等の廃熱地域利用



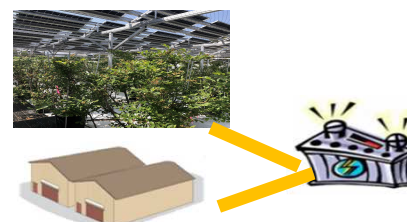
事業所の空調等の廃熱を病院、オフィス等に二次利用することにより更なるCO2排出削減を実現。

地中熱・下水熱等活用型空調



地中熱・下水熱等の温度差エネルギーをオフィス等の空調に活用することによりCO2排出削減を実現。また、ヒートアイランド現象の抑制にも貢献。

営農地での再エネ導入



農地周辺に存在する農林漁業関連施設・地方公共団体の設備（動力設備、冷蔵冷凍設備）等への供給